2019年8月吉日

会員各位

ＪＳＣＡ東京実務者研修「技術講座」

シリーズ「これからの建築構造工学を考える」

第1回　荷重と極値分布

講師：東京大学名誉教授　神田順先生

共催 日本建築構造技術者協会　JSCA東京（JSCA）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 東京構造設計事務所協会（ASDO）

今年も暑い夏を迎えましたが、皆様におかれましてはますますお元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃より、ASDO・JSCA共催の当技術研修会にご参加頂きありがとうございます。

当研修会では、10月より、新しく４回に渡ってシリーズ「これからの建築構造工学を考える」を企画いたしました。講師は、限界状態設計関連の著書等により、皆様もよくご存知の東京大学名誉教授神田順先生にお引き受けいただき、興味深いお話をして頂くようお願いしました。

シリーズ第１回目研修会を次頁の通りご案内いたします。講義内容につきましては、「荷重と極値分布」についてお話いただきますが、神田先生より以下の通り皆様へのメッセージを頂いております。皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

神田順先生よりのメッセージ

初回の講義では、構造物の安全性に大きくかかわる荷重の不確定性について、モデル化をどのように考えたらよいか、主に極値分布とその応用について、話題提供します。

1. なぜ確率論か？　荷重のように将来生じるまれな事象については、不確定性を有するので、どの程度安全かを考える上で荷重の大きさを設定するにあたっては、確率論に基づく解釈が欠かせない。
2. グンベル分布で考える　グンベル分布は、上限も下限もない場合の確率的な最大値という条件だけから漸近分布として数学的に導かれる。特有の性質をもつ扱いやすい確率分布である。
3. カンダ分布の紹介　上限も下限もあるという工学的に考えた条件から経験的極値分布として提案したもので、地震動や津波波高への適合性を説明する。
4. 荷重強さと極値分布　積雪深、強風、地震動強さなどを年最大値で扱ったときにそのばらつきの特性を、極値分布の性質から考える。

記

テーマ：シリーズ「これからの建築構造工学を考える」

第一回「荷重と極値分布」

日時　：2019年10月8日（火）

　受付 ：17時30分より

　　場所　：日大理工学部駿河台校舎1号館　2階　121会議室

　　　　　　https://www.cst.nihon-u.ac.jp/campus/surugadai/

　　定員　：80名

　　プログラム： 司会 　市村隆幸（㈱親交設計）

18:00～18:05　　趣旨説明　 金田勝徳（㈱構造計画プラス・ワン）

18:05～19:35　　講演　東京大学名誉教授　神田順先生

19:35～20:00　　質疑応答

　　資料代　： JSCA会員／￥1,500　　非会員／￥2,000　　学生／￥500

**ＪＳＣＡ東京実務者研修「技術講座」**

**第１回　荷重と極値分布**

**申 込 方 法**

　　1. 申 込 期 間 　：2019年9月25日(水)まで（定員になり次第締切）

2. 会費納入方法　：当日受付にてお支払いください。

　　　　　　　　　　　　　※なるべくお釣りのないようにお願いいたします。

　　3. 参　 加　 票　：開催日の一週間前を目途にＥメールにて配信いたします。

申込先　：一般社団法人日本建築構造技術者協会　JSCA東京

メールまたはＦＡＸにてお申し込み願います。

**E-mail　jsca-tyo@jsca.or.jp**　 FAX 03-3262-8486

JSCA会員　　**・**　　非会員　・　学生

フリガナ：

参加者名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　JSCA会員番号：

勤務先または学校名：

連絡先ＴＥＬ：　　　　　　　　　　　　　　　　　ＦＡＸ：

Ｅ-mail：

※メールでお申し込みの場合は、件名に**「荷重と極値分布」申込み** と明記して下さい。

JSCA建築構造士登録更新のための評価点申請中

建築ＣＰＤ情報提供制度対象講習会申請中

JSCA建築構造士の方は、登録証を当日必ずご持参のうえ受付にてご提示ください。